



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第10号
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)
☎(0142)74-3015

新年度を迎え、新しく壮瞥町・洞爺湖町に来られた皆様も多いと思います。「ジオパーク通信」では世界認定を受けている洞爺湖有珠山ジオパークとその魅力について、今月から4回にわけてお知らせします。

11万年ほど前に、現在洞爺湖があるあたりで、大きな噴火が occurred しました。この時にできたくぼ地(カルデラ)に水がたまって、洞爺湖が生まれました。



しかし7~8千年前、この山は山頂から崩れてしまいます。



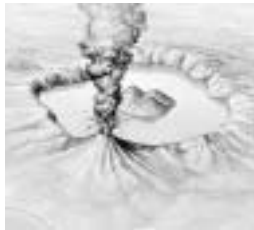
現在、伊達市の有珠地区などで見られる小さな丘や岩、噴火湾の岩礁は、このときに流れてきたものです。

5万年ほど前に、湖のまんなかで噴火が繰り返され、溶岩ドームがいくつもできました。これが現在の中島です。



その後有珠山は沈静化します。この穏やかな時期に、噴火湾沿岸で縄文人が暮らしていたことが、入江・高砂貝塚(洞爺湖町)や北黄金貝塚(伊達市)などの遺跡の調査からわかっています。

2万年ほど前に、洞爺湖の南で噴火が繰り返されて、有珠山が誕生。当時は、羊蹄山のような富士山型の山だったと考えられています。



再び噴火活動が始まったのは1663年。その後、有珠山は数十年ごとに噴火を繰り返しています。1910年の噴火では温泉の源泉となる四十三山が、1944年からの噴火では昭和山が誕生しました。最近の噴火は2000年。有珠山はこれからも噴火する可能性がある、活火山のひとつです。

引用文献:『火の山の奏(かなで)』有珠火山防災教育副読本作成委員会 2004年発行

~ ジオパークQ&A ~

Q. 「ジオ」ってどういう意味?

A. 「ジオ」は「地球」や「大地」という意味で、「ジオロジー(地質学)」など地球に関する言葉の頭につけられます。

Q. 「ジオパーク」という名前の公園があるの?

A. 遊具のあるような公園のことではなく、国立公園のように、ある地域一帯を示す表現です。壮瞥町・豊浦町・伊達市・洞爺湖町の4市町全域が洞爺湖有珠山ジオパークとなっています。

Q. 何ができるところなの?

A. ジオパークには、地球の営みがよくわかる場所がいくつもあります。洞爺湖有珠山では、有珠山や縄文時代の遺跡が見学でき、温泉や食事を楽しみながら五感で大地を感じることができます。噴火災害にそなえた防災学習ができるのも、大きな特徴のひとつです。ジオパークは世界中にあり、ユネスコが支援する「世界ジオパーク」は90地域、日本国内では「日本ジオパーク」が25地域あります(2013.3現在)。それぞれ4年に一度再審査があり、洞爺湖・有珠山も、今年8月頃までに世界ジオパークの再審査を受ける予定です。